

11月8日（いい歯の日）と関連させた「食に関する指導」に向け「よく噛むと、おいしい」を伝える授業と、給食の工夫で「実感」

授業（10月） **+** かむことチャレンジ（給食・おうち） **+** その後1か月の継続的な給食指導

栄養教諭の授業

「よく噛むと、おいしい」授業で教材を活用。「音」と「食感」を意識。

食育の「おいしく食べる・味わう」という内容と関連付けて授業を実施。教材として準備している「せんべい」「きゅうり」の他にも、これまで給食で体験したことのある食材の「音」を思い出しながら、よく噛んで食べると、食材の「音」「食感」を感じ、「味」もおいしく食べることができる＝「味わう」ことができることを伝えた。

給食の工夫で習慣化

給食の時間に、メニュー紹介スライドショーで復習。授業と給食をつなげ、食べながら実感。

献立から、よく噛んで食べるとその食材の特長（音・食感）が感じられるメニューを選び、栄養教諭がナレーションで解説するスライドを準備。給食の時間に、各クラスで放映することで、授業で学習したかむことの①②③を思い出しながら食べ、その効果が実感できるようにした。

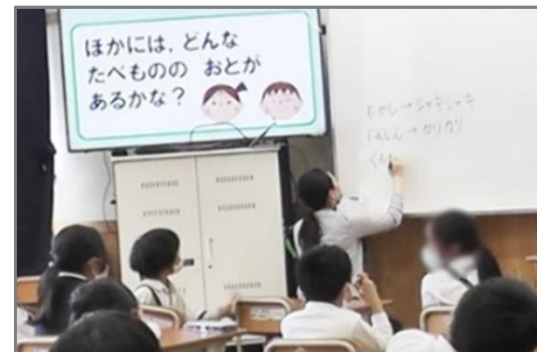
実施した栄養教諭の声

おいしく食べるには、噛むことが不可欠。

廣瀬 彩香先生

このプログラムは、授業で学習したことが、給食で実感できることが魅力。よく噛むからこそ感じられる「音」や「食感」に注目させると、児童が普段敬遠しがちな硬い食材も、楽しく食べることができました。

結果的に、残食を減らすことにもつながり、効果を感じています。

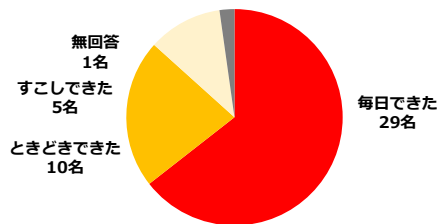


▲さまざまな食材の「音」を準備したオリジナルスライド



▲栄養教諭の解説ナレーション入りスライドショー

チャレンジの5にちかんは、（かむことの①②③を意識して）がんばれましたか？



▲児童のふりかえり集計結果